

探査子・目標一致の排除に向かって

問い返し wh 疑問文の派生

大宗 純

1. はじめに

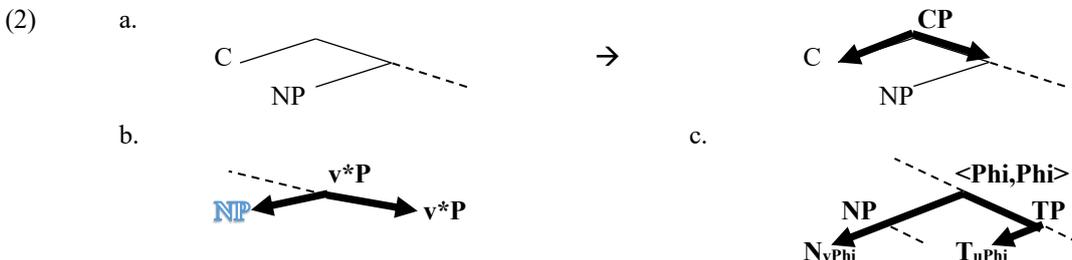
Chomsky (2015)の極小主義モデルでは、統辞構造 (syntactic structure) を組み上げる併合 (Merge) は素性等の要因によって駆動されるのではなく、自由に適用 (free Merge) される。また、併合によって作られた統辞対象物 (syntactic object) のラベル (範疇) は最小検索 (Minimal Search) によるラベル付け (labeling) によって行われると仮定されている。このラベル付け同様に、最小検索は一致 (agreement) を所謂指定部・主要部の関係で行う。つまり、この派生モデルでは、探査子・目標一致 (Probe-Goal Agree) は排除されている。探査子・目標一致を排除し、ラベル付けで素性共有 (一致) を行う派生モデルは wh 句が元位置に残留した場合の統辞構造の派生に疑問を投げかける。本稿では、このモデルの下、探査子・目標一致を利用せずに英語の問い返し wh 疑問文 (echo wh-question) のような wh(-in-situ)疑問文に対して新たな構造を提案し、その帰結を探る。

2. 理論的枠組み

併合は(1a)、(1b)の2種類が仮定されており、形式的には、前者の併合は非順序集合、後者の対併合は順序対を作り出す操作である。形式ばらない言い方をすると対併合は付加 (adjunction) に相当する。

- (1) a. (Set-)Merge (a,b)={a,b} b. Pair-Merge (a,b)=<a,b>

入力となる2つの要素の1つが併合により組み上げられた非順序集合内の要素である場合、内部併合 (internal Merge/IM) と呼ばれる (i.e. 移動)。集合内部より要素を入力しない場合は外部併合 (external Merge/EM) と呼ばれる。併合によって組み上げられた構造は単純な集合であり、名詞・動詞・前置詞等のラベルが決まっていない。統辞構造を解釈するにはラベルが必要不可欠であるとの仮定の下、Chomsky (2015)では、ラベル付けを(2)のように行うと仮定している。(2a-c)の樹形図はそれぞれ{C,{NP,...}}、{...,{NP,{v*,...}}、{...,{NP,{T,...}}に対応する(中抜き文字の要素は、内部併合により生じる低い位置にあるコピー (i.e. 痕跡))。



最も単純な例は(2a)である。最小検索は初めに構造そのものを発見するが、それだけではラベルを決定できないため、構造内部をさらに深く検索する。その結果、C と {NP,...}を発見する。これら2つの統辞対象物の中で素性を持っているのは主要部・語彙項目のCであるため、集合全体はC、つまり叙述、疑問などの解釈を持つとラベル付けられる(仮にCPと表記)。同様に、(2b)でも最小検索が行われているが、発見されたNPとv*Pは共に句相当の集合であり、主要部ではない。しかし、NPは構造のより上位に移動しており、そのコピーであるNPは定義上(少なくとも最小検索に対して)不可視的であると仮定されている。よって、唯一の見える要素であるv*Pがラベルとなる。対して、(2c)では、NPが見えないコピーではないため、最小検索はNとTを同時に発見する。通常、最小検索はこのような構造をNとTのどちらの性質(ラベル)を持つ構造であるのか決定できない。よって、解釈系においてこの構造は適切な解釈を得ることができず破綻する。しかし、(2c)のNはvPhi(元々3人称・単数等の値を持つphi素性集合)を、TはuPhi(未与値(unvalued)phi素性集合)を持っているため、問題となっている構造のラベルは2つの主要部間で同じ素性であるphi(仮に<Phi,Phi>と表記)となる(素性共有)。Chomsky (2015)等によると、このラベル付けの際にvPhiとuPhiの一致(e.g. 主語と動詞の一致)も行われる。同様の一致がQ素性の場合でも起きる。以下のように、wh句がC指定部に移動してきた場合(i.e. wh疑問文)を考えてみよう。

- (4) {x QP_{wh}, {y C_Q, {<Phi,Phi> NP, {TP T, ...}}}}

主語・動詞の一致と同様の素性共有・ラベル付けが起これると考えると、wh句の主要部とC_Qの間でQ素性共有が行われ、xは<Q,Q>、yはC_QPとラベル付けられる。このようなラベル<Q,Q>はwh疑問文、C_QP単体はyes/no疑問文の音韻的・意味的解釈を提供する。つまり、この派生モデルでは、uFが目標vFを探査して値を

